

簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変世帯】

○「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請書」と一緒にご提出ください。

1.下記にチェック (☑) してください。

私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

2.申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した者全てについて記入してください。

	(フリガナ) 氏名	左欄の者が扶養する者の数	令和4年度住民税課税状況	障害者控除等の適用	給与収入	事業収入 又は 不動産収入	年金収入	年間所得見込額	非課税相当所得限度額
	①	②	③	④					
1		人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月			円	円
	1か月の収入④				円	円			
	年間収入見込額 ④×12か月=⑤				円	円			
	控除額 ③ (別紙6参照)				円	円			
					年間所得見込額 ⑤-③=⑥	円	円	円	円
2		人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月			円	円
	1か月の収入④				円	円			
	年間収入見込額 ④×12か月=⑤				円	円			
	控除額 ③ (別紙6参照)				円	円			
					年間所得見込額 ⑤-③=⑥	円	円	円	円
3		人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月			円	円
	1か月の収入④				円	円			
	年間収入見込額 ④×12か月=⑤				円	円			
	控除額 ③ (別紙6参照)				円	円			
					年間所得見込額 ⑤-③=⑥	円	円	円	円
4		人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月			円	円
	1か月の収入④				円	円			
	年間収入見込額 ④×12か月=⑤				円	円			
	控除額 ③ (別紙6参照)				円	円			
					年間所得見込額 ⑤-③=⑥	円	円	円	円
5		人	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月			円	円
	1か月の収入④				円	円			
	年間収入見込額 ④×12か月=⑤				円	円			
	控除額 ③ (別紙6参照)				円	円			
					年間所得見込額 ⑤-③=⑥	円	円	円	円

※記入については、別紙《申立書の書き方》を参考の上ご記入ください。

《申立書の書き方》

1. 一番上、「1. 下記にチェック (☑) をしてください。」に該当する場合はチェックをしてください。(収入の減少がコロナウイルス感染症の影響である場合。違う場合は本給付金の対象にはなりません。)
2. ①には、同居・別居にかかわらず、扶養している親族の人数を記入してください。(扶養控除等申告書で届け出ている人数(税法上の扶養の人数))
3. ②には、該当する項目に☑を入れてください。
4. ③には、該当する控除がある場合には☑を入れてください。なければ空欄で構いません。
5. ④には、令和4年1月以降の、収入が減少した任意の年月を記載してください。
6. ⑤、⑥、⑦には、下記の表を参考に、該当するものを記載してください。

給与収入	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金収入	※公的年金収入(非課税の年金除く(遺族年金、障害年金など))がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。

控除額の計算方法

(1) 給与収入 ⑤の㉔

年間収入見込額⑤が162.5万円以下	→	55万円
年間収入見込額⑤が162.5万円超180万円以下	→	給与収入分×40%－10万円
年間収入見込額⑤が180万円超360万円以下	→	給与収入分×30%＋8万円

(2) 事業収入 ⑥の㉔

事業収入の場合、1か月の収入⑥のために要した経費に12をかけた額を、不動産収入を記入した方は、年間収入見込額⑥のために要した経費(12か月相当額)をご記入ください。

(3) 年金収入 ⑦の㉔

(65歳未満の方)	公的年金等収入分	控除額
	: 60万円以下	→ 公的年金等収入分の全額
	: 60万円超130万円未満	→ 60万円
	: 130万円以上410万円未満	→ 公的年金等収入分×0.25＋27万5千円
(65歳以上の方)		
	: 110万円以下	→ 公的年金等収入分の全額
	: 110万円超330万円未満	→ 110万円
	: 330万円以上410万円未満	→ 公的年金等収入分×0.25＋27万5千円

7. ⑧には、⑤、⑥、⑦で計算したそれぞれの年間所得見込額の合計額を記載してください。
8. ⑨には、①の人数を基に、下記の表に該当する非課税相当所得限度額をご記入ください。

扶養している親族の状況	①の人数	非課税相当所得限度額
単身又は扶養親族がない場合	0人	38.0万円
配偶者又は扶養親族(1名)を扶養している場合	1人	82.8万円
配偶者又は扶養親族(計2名)を扶養している場合	2人	110.8万円
配偶者又は扶養親族(計3名)を扶養している場合	3人	138.8万円
配偶者又は扶養親族(計4名)を扶養している場合	4人	166.8万円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合		135.0万円

※この金額を超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用